

## 会議録

会議の名称	平成24年度 第2回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成24年9月10日（月曜日） 午後7時00分から9時00分まで
開催場所	西東京市 保谷庁舎1階 会議室
出席者	委員：赤澤委員長、有賀副委員長、近辻委員、武藤委員、山崎委員、中平委員、西田委員、山本委員 事務局：林文化振興課文化振興係長、渡部文化振興課文化振興係主任
議題	1：第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について 2：計画前期の進め方について 3：23年度実施事業における施策別概要について 4：その他
会議資料の名称	1. 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録 2. 計画前期の取組について 3. 23年度実施事業の施策別概要一覧 4. 9月23日講演会のちらし
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録      発言者の発言内容ごとの要点記録      会議内容の要点記録
会議内容	

開会

○委員長：

本委員会に欠席した委員は2名であり、定足数を満たしているので、議事を進めることとする。

議題1 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について

委員長から資料1に基づき説明

- ・委員各位より承認された。

議題2 計画前期の進め方について

事務局から資料2に基づき説明

(各委員より意見あり)

【文化ボランティアについて】

- ・事務局からの提案は美術鑑賞に関する文化ボランティアについてであったが、他の分野の文化ボランティアについても検討するのか。
- ・すぐに出来る文化ボランティアは、音楽コンサートの会場ボランティアだと思う。音楽会を実施する場合、当日の会場案内係には7～8人が必要になる。そういう係を市民から募集するのは、施策として取組みやすく、ニーズもあるのではないか。
- ・こもれびホールでは、市民の協力で若干の謝礼をお支払いして、コンサート会場スタッフとして来てもらっている。交通費程度なので、ボランティアと言ってもよい。
- ・美術ボランティアの場合は、ある程度の専門知識が無いとできないところがあるが、音楽コンサートの会場ボランティアは礼儀正しければ、知識が無くても誰でも出来るので、取組みやすいと思う。
- ・会場系の音楽ボランティアを実施する場合も、講習やマニュアルは必要と思う。文化祭でイベントを実施する場合は、必ずボランティアの受付が立つ。各部の団体が相談しながら人選しているが、劇場でお客様をご案内する際のエチケットや鑑賞する際の態度などの指導も必要であると感じる。コンサートの受付は、様々なことが起こる可能性があるので、一般的な指導ができれば、ボランティアでもスムーズに対応できるようになると思う。
- ・文化ボランティアでは、活動をどうすれば継続できるのかといったことを、考えなければいけないと思う。シネマクラブにもボランティアがいる。核となる正会員だけでは、1日3回9時から21時までの映画上映を実施することはできない。映画上映する時には登録している約20～25名のボランティアの方に声がけして、会場系のノウハウを伝えながら実施しているが、無償でボランティア活動を続けていただくためにはどうしたらよいかといったことも考えて、会場系は無償だが、映画上映が始まったら席に座って映画鑑賞できるようにしている。単にボランティアをするだけでなく、活動の意義やメリットも考えなければ、ボランティアは続かないのではないかとこのことを提案する。

○事務局：

- ・実施プログラムでは、1つの事業を実施することで複数ある未解決の施策に取組めるような、複合的なやり方を行っていきたいと考えている。現在他で取組まれている事業や自主的なボランティア活動について、市で取り上げて大きくしたり、形を変えたりといったことは考えていない。今あるものはそのまま大事にしていきながら、不足しているものや、実施することで他の問題も解決できるようなものについて積極的に考えていきたいと思っている。計画策定の折、市民意向調査では美術への関心が高かった。市内には美術館が無いが、美術的な施策として文化ボランティアを考えた時、まだ市内で行われていないといったこともあり、今回事務局で他市の先進的な取組を見た中で、美術に関するボランティアを取り上げていきたいと考えた。
- ・実施プログラム6のイベントではシンフォニーコンサート実施の際には、会場ボランティアを募集して試行してみようと考えている。

#### 【グループディスカッションのテーマについて】

- ・実施プログラム4「庁内事業調整」のうち、「練習場所・発表場所の最適化」「公共施設の利用環境の整備」は文化活動者にとっては関心があり、現状、活動の場所を押さえることに苦慮している活動団体も多いと思われる点から、実施プログラム5のグループディスカッションのテーマにもしてもらいたい。またどのようなスケジュールで進められるのかも知りたい。
- ・活動場所を探す時に、普段使用している施設が押さえられない場合、施設によって規則が違う等で、活動者が混乱する場合がある。そういった活動者の声に対する窓口的役割は、文化振興課に担ってもらえるのいいのではないかと思う。

#### ○事務局：

- ・このテーマが文化活動をされている方に関心が高いといったところは理解している。庁内には公共施設適正配置の委員会もあるので、委員会の進み方と平行した形で調整をしながら進めていけたらと考えている。今後グループディスカッションを企画する上で、テーマの参考とさせてもらいたい。

#### 【その他】

- ・市内事業者との連携で市民映画祭が取り上げられたのは、他団体と連携して実施しているところが評価されたのだと思う。市民映画祭が色々な団体と連携することで町おこしが出来ればと思っているので評価はありがたい
- ・実施プログラム4に関連して、市内には外国籍市民がどのくらいいるのか、震災避難者がどのくらいいるのか？その増減の傾向を知りたい。

#### ○事務局：

- ・個別に連絡する。

#### 議題3 23年度実施事業における施策別概要について

事務局から資料3に基づき説明

(各委員より意見あり)

- ・まとめたものを見ると、市の事業は予想以上にたくさんあるということがわかった。
- ・市報、こもれびインフォメーション、公民館だより、図書館だよりを通じて情報発信をしているということがわかった。こもれびホールでは、こもれびインフォメーション

ン以外の情報ツールで来館している人数を把握できれば、インフォメーションでの集客数、年間動員数が掴めるのではないかと思う。

活動者がイベントを実施する際は、こういった情報発信の道具以外でイベントをやって文化を創り、文化を発信して、その告知によって人を呼んでいる。それをどういう風に市民がやっているかというのは、FM西東京とかタウン通信とかチラシとかを使って努力しているのではないかと思う。情報発信は市民がイベントを実施する際の苦労の原点であるから、そういう情報発信の努力を把握することは必要だと思う。

- ・こもれびインフォメーションでは、ホールの主催事業の他、こもれびホールを貸し館として利用される方の情報も個人情報に配慮しながら掲載している。また、自主事業の際には、アンケート項目として、イベントを知った経緯を聞くようにしているが、市民が実施しているイベント情報を把握していないことは沢山あると思う。
- ・西東京の文化は、色々な人が色々な方法で情報を得ている。今後の推進委員会で、市内にはどんな文化活動があり、それがどのように情報発信され、市民がどのように参加しているのかを考える上で、資料3はよい材料だと思う。
- ・こもれびホール等で各団体がイベントをする際は、アンケートを実施していると思う。西東京フィルでは、どのくらいの年代の人が、何でこの情報を知って、どこから来たのかといったアンケート項目がある。そのような資料が必要ということであれば、提供することができる。文化の団体が集まって協議する際には、そのような資料を出しながら意見交換するといった方法もあるかと思う。
- ・こもれびホールで実施された活動団体主催の事業で行うアンケートは参考になる。市民団体がどのようなアンケートをとっているのかといったことを、こもれびホールでは現在では把握しておらず、そのあたりのコミュニケーションを図っていないところがある。
- ・資料3には、参加人数や規模の把握が出来るような説明もほしい。
- ・資料3は、推進委員会以外でも活かされる場面があるとよい。

#### 議題4 その他

- ・次回は10月22日（月曜日）か23日（火曜日）の午後7時より行う。委員の日程を調整次第、場所を後日連絡すると確認した。
- ・10月16日の下北沢ペナントギャラリーに参加できる委員は、事務局まで連絡することを確認した。

閉会